

令和2年度 ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

寄付者の方から使い道を指定して福井県にいただいたふるさと納税は、以下の事業に活用させていただきました。

POINT
応援型
虎

件数

2,342件

金額

78,829,066円

令和2年4月から令和3年3月までに使い道を指定していただいた寄付

01

ふるさとの母校応援

寄付金額

16,632千円

- 福井県内の各高校で学ぶ後輩を応援するため、寄付額の4/5は指定先の高校へ、残りの1/5は返還の必要のない県全体の給付型奨学金制度「きぼう応援奨学金」に活用しました。
- 高校では、生徒たちの学習に必要な物品の購入やスポーツ用具等の購入、ICT機器の整備等に活用しました。
- 平成27年度から毎年約20名の生徒に対して、「きぼう応援奨学金」を3年間給付しています。



02

福井県立恐竜博物館の魅力向上応援

寄付金額

1,697千円

- 令和2年度は福井県勝山市における発掘調査や大野市との共同発掘調査を実施するとともに、開館20周年を記念して、20年の足跡をたどる企画展等のイベントを開催しました。
- 令和2年度は6月14日まで臨時休館したものの、修学旅行の受け入れは過去最多の156校、1万590人となりました。
- 家庭に居ながら博物館を体感できるようYouTubeで動画配信を行うなど、博物館や恐竜たちの魅力を全国に向けて発信しています。



03

高校生の長期海外留学応援

寄付金額

12,016千円

- 高校生のきぼう実現を応援し、国際社会で活躍できる人材を育成するため、平成28年度から高校生の長期留学に対する返済不要の奨学金制度を設け、皆様からいただいた寄付金を財源に1年以上の留学に対して奨学金を給付しています。
- 令和元年度および令和2年度は、香港、アルメニア、ドイツ、スウェーデン、アメリカに留学する高校生延べ7名を奨学生として採用し、奨学金を給付しました。



04

ふくいの大学生を応援

寄付金額

8,327千円

- 福井県内の各大学で学ぶ後輩を応援するため、寄付額の4/5は指定先の大学等へ、残りの1/5は「大学連携センター(Fスクエア)」の運営に活用しました。
- Fスクエアは、共通のサテライトキャンパスとして、ふくいの魅力を学ぶ講義や、大学間の垣根を越えた交流活動を行い、令和2年度は、延べ3千人を超える利用がありました。



05

福井県民衛星プロジェクトを応援

寄付金額

78千円

- 福井県では、地方発の新たなビジネスモデルの創出に向け、県内外の企業が主体となって超小型人工衛星の製造や衛星データを利活用するソフトウェアの開発に取り組んでいます。
- 令和3年3月に、県内外の企業が共同で製造した県民衛星「すいせん」が、カザフスタンのバイコヌール宇宙基地から打上げられました。



06

障がい者アスリートの夢を応援

寄付金額

70千円

- 県内の障がい者トップアスリートが日本代表選手として出場する国際大会や代表合宿への遠征費等を支援し、障がい者アスリートの夢を応援しています。
- 令和2年度は、14名の選手を応援しました。国際大会で活躍する姿は、私たちに勇気や希望を与えます。遠征費等の支援を通じて、県内在住の障がい者アスリートの活躍を応援するとともに、障がい者スポーツの普及と振興を目指します。



07

農業人材の育成応援

寄付金額

75千円

- 福井県では、農業にかかる多様な人材の育成を進めるため、平成26年にふくい園芸カレッジを開講しており、令和2年度は、新規就農コース30名、地産地消コース57名、スマート園芸コース12名を研修生として受け入れました。
- 令和元年度から、集落営農法人等の後継者やオペレーターを育成するため、新たに越前若狭田んぼ道場を開講し、第2期は24名が受講しました。



08

新型コロナで経済的に困窮する学生等を支援

寄付金額

20,675千円

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、アルバイト収入や親からの仕送りが減少した学生の学びの継続、また、学内の感染予防対策に活用しました。
- 令和2年度は、収入が減少した学生への奨学金の支給、対面授業のためのフェイスシールドの購入、学内へのサーマルカメラの設置などを行いました。



09 ブランド米「いちほまれ」を応援

寄付金額
639千円

- 「いちほまれ」を日本一のブランド米に育てるため、生産者に対する現地研修会の開催や品質を高める実証圃の設置などに活用しました。
- 穂が出てからの高温など厳しい気象条件下ではありましたが、日本穀物検定協会が発表した「令和2年産米の食味ランキング」において北陸で唯一、最高評価の特Aを獲得することができました。



10 福井県アンテナショップを応援

寄付金額
3,306千円

- 福井県のアンテナショップ「ふくい南青山291」および「食の国 福井館」では、県内の特産品を取り揃え、福井の魅力を発信しています。
- 百貨店や駅等での店舗外販売やネット通販も実施し、福井の知名度向上を図りました。
- また、「ふくい南青山291」ではビジネス支援を行っており、県内企業の販路開拓活動を支援しました。



11 県選抜クラブチームを応援

寄付金額
100千円

- 平成30年度に開催した「福井しあわせ元気国体」で強化が進んだクラブチームの自立を応援しています。上位リーグへの参戦、新たな選手獲得など、安定したチームづくりと更なる発展を応援します。
- 令和2年度は、ラグビーフットボール競技(女子)、ホッケー競技(女子)、ソフトテニス競技(男女)のクラブチームの大会参加費やチーム強化備品、広報冊子等の作成に支援しました。



12 観光の再生・回復を支援

寄付金額
166千円

- (公社)福井県観光連盟が観光による地域のかじ取り役を担う観光庁の「観光地域づくり法人(DMO)」に登録され、2024年の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、市町をまたいだ観光施策の強化に乗り出しています。
- 令和2年度は県外や国外の旅行会社と、オンラインによる観光商談会等の開催、明智光秀バスツアー等今ならではの誘客や情報発信、若者からの支持が高い「ことりっぶ」福井版の制作等を行いました。



13 クラウドファンディング活用促進を応援

寄付金額
60千円

- 県内事業者の取組を全国に発信し、知名度・ブランド力の強化を図るため、クラウドファンディングを活用した創業や新分野展開等の取組を支援します。
- 令和2年度は、現地で木地づくりの様子を見ることができ移動式工房の製作やオリジナルのテキスタイルで作る機能性マスクの製作など、15のプロジェクトを支援しました。



14 ふるさと起業家の新産業創出を応援

寄付金額
14,993千円

- 地域課題の解決などに取り組む県内事業者のプロジェクトを応援するため、ふるさと納税を活用してクラウドファンディングによる寄付募集を支援しています。
- 令和2年度は寄付を募集した11プロジェクトのうち10プロジェクトが目標を達成しました。
- コワーキングスペースの開設や伝統味「山うに」料理の販売拠点のリニューアルなどのプロジェクトが実現しています。



令和2年度 ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

使い道のご指定なくいただいたふるさと納税は、以下の事業に活用させていただきました。

芸術教育推進事業

寄付金額
2,168千円

- 小・中・高の弦楽推進校に年間を通してプロ奏者を派遣し、児童・生徒が技術指導を受けられるようにしました。
- 児童・生徒・指導者が一流の弦楽奏者の演奏を聴き、指導を受ける機会を設けました。



件数 53件

金額 2,168,001円

使途を定めず
いただいたもの

その他、新型コロナウイルス対策資金として23,810千円、令和3年大雪災害支援として5,623千円、交通災害等遺児就学支度金として550千円をいただきました。



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくる



11 住み続けられる
まちづくりを

